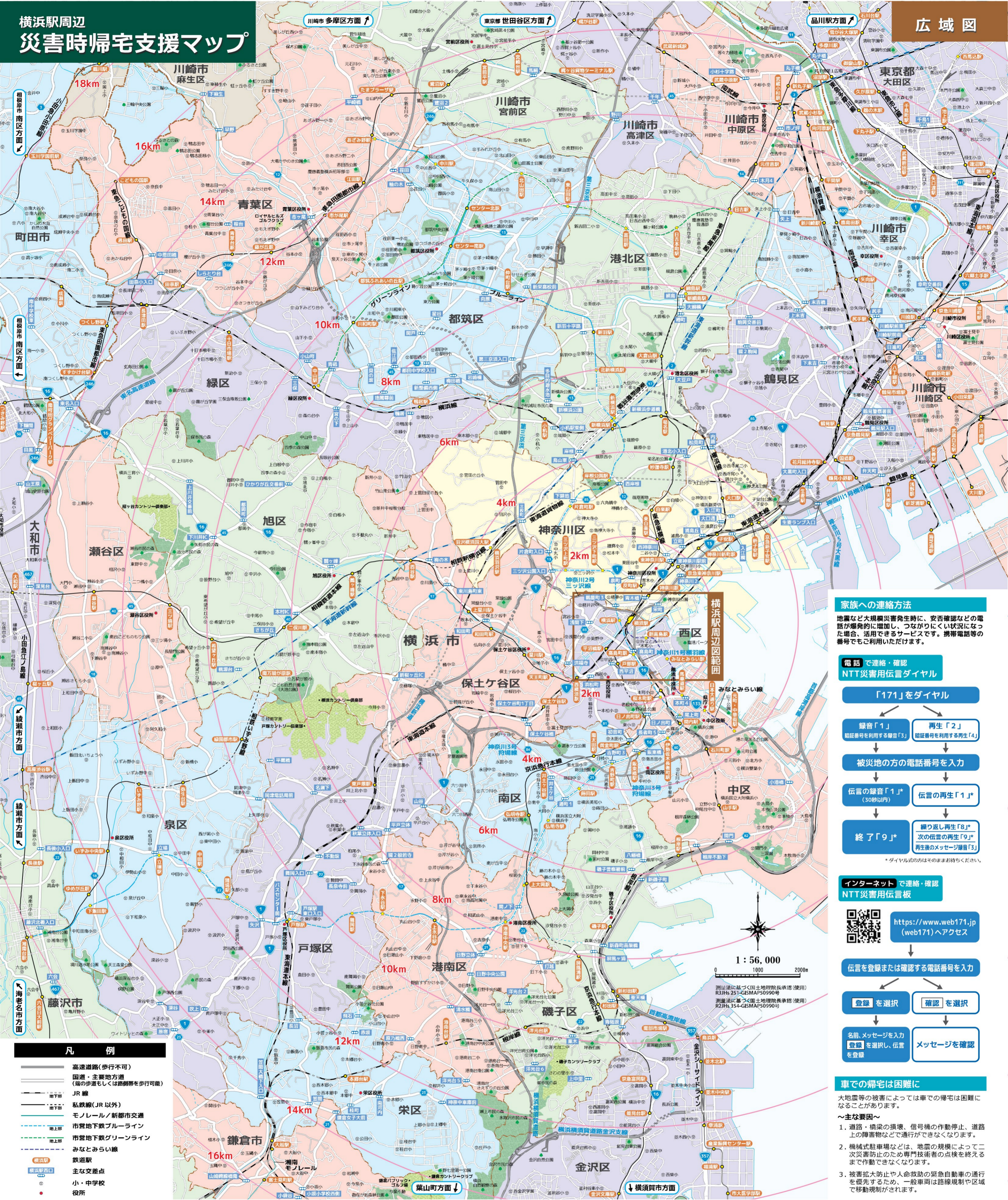


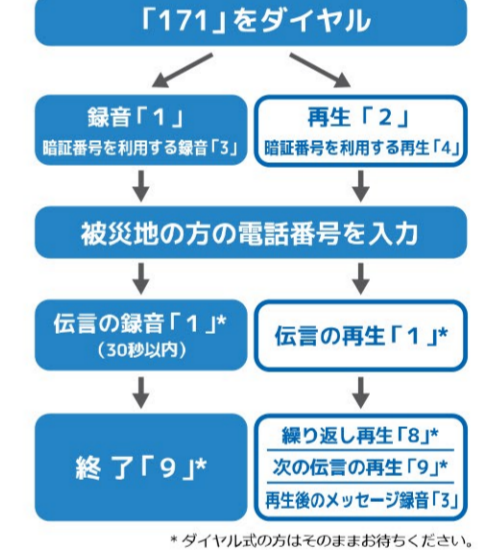
横浜駅周辺 災害時帰宅支援マップ

広域図



家族への連絡方法
 地震など大規模災害発生時に、安否確認などの電話が爆発的に増加し、つながりにくい状況になった場合、活用できるサービスです。携帯電話等の番号でもご利用いただけます。

電話で連絡・確認 NTT災害用伝言ダイヤル



インターネットで連絡・確認 NTT災害用伝言板



車での帰宅は困難に

大地震等の被害によっては車での帰宅は困難になることがあります。
 ~主な要因~
 1. 道路・橋梁の損壊、信号機の作動停止、道路上の障害物などで通行ができなくなります。
 2. 機械式駐車場などは、地震の規模によって二次災害防止のため専門技術者の点検を終えるまで作動できなくなります。
 3. 被害拡大防止や人命救助の緊急自動車の通行を優先するため、一般車両は路線規制や区域で移動規制がされます。

- ### 凡例
- 高速道路(歩行不可)
 - 国道・主要地方道(車の歩道もしくは踏切帯を歩行可能)
 - JR線
 - 私鉄線(JR以外)
 - モノレール/新都市交通
 - 市営地下鉄ブルーライン
 - 市営地下鉄グリーンライン
 - みなとみらい線
 - 鉄道駅
 - 主要交差点
 - 小・中学校
 - 役所

徒歩帰宅にあたって

一般的に、徒歩可能距離は体力差にもよりますが10km~20kmと言われています。天候や災害発生状況、体調等を考慮して徒歩帰宅の判断をしましょう。

まず

- むやみに行動を開始せず、自宅までの徒歩帰宅ルートの安全と距離の確認をしましょう。
- 電波連絡のほか、災害用伝言ダイヤルなどで自分の無事を知らせ、家族の安否確認をしましょう。

注意すべきこと

- 火災、沿線の建物からの落下物、建物やブロック塀の倒壊、津波、崖崩れ等、二次災害に巻き込まれないよう危険箇所を避けましょう。
- 普段から勤務場所に歩きやすい靴を準備、来街者はスニーカーの購入も検討しましょう。
- 案内標識の活用、災害時帰宅支援ステーションの利用、歩きやすさなどの安全性から国道や主要地方道などの幅の広い道路を選びましょう。
- 帰宅時は、歩道が混雑する時間を避けたり、明るい時間帯を避けるなど帰宅するタイミングを考慮しましょう。
- 急がずゆっくりと自分のペースで歩きましょう。
- 休憩や水分補給は、早めにこまめに取りましょう。

災害時帰宅支援ステーション

災害時帰宅支援ステーションでは
 1. 水道水・トイレの提供
 2. 休憩場所の提供
 3. 地図やラジオ等を基にした道路情報の提供
 を受けることができます。
 協定を結んでいる店舗には、右のステッカーが貼られています。



主な店舗 令和7年8月末現在 (防災首都圏ネットHPより)

- ★コンビニ
 ディーエーヤマザキ、ファミリーマート、ミニストップ、ローソン、ローソンストア100、ナチュラルローソン、セブンイレブン、生活彩家 など
- ★ファストフード
 カレーハウスCoCo壱番房、タリーズコーヒー、ミスタードーナツ、モスバーガー、吉野家、山田うどん食堂、天丼てんや、ドールコーヒー など
- ★ファミリーレストラン
 味の国産、デニーズ、ロイヤルホスト、和食さと、TGIフライデーズ、リンガーハット など
- ★その他、居酒屋チェーン店、カラオケチェーン店の一部店舗などもあります。
 ※被災状況や立地などにより、支援を提供できない店舗もあります。

帰宅抑制のお願い... 駅周辺事業所の皆様へ

- 横浜市内では、帰宅困難者等による混乱防止のため「むやみに移動を開始しない」を基本原則とし、各事業所等が次の準備をすることで一斉帰宅の抑制に努めています。
- ① 3日分の備蓄
 従業員一人当たり：水9日、食料9食、毛布1枚、その他
- ② 安否情報・情報収集手段の確保
 災害用伝言ダイヤル、災害用伝言板、横浜市防災情報Eメールなど
- ③ 従業員の安全帰宅のための啓発
 横浜駅周辺の災害リスク、徒歩帰宅ルートや支援施設等(津波避難施設、災害時帰宅支援ステーション、公共トイレ等)、徒歩帰宅時に必要な装備品の確認

横浜駅周辺災害時帰宅支援マップ制作団体

- 横浜駅西口共同防火防災管理協議会
- 横浜駅東口共同防火防災管理協議会
- (一社)横浜西口エリアマネジメント
- 横浜駅西口防災協議会
- 横浜駅東口防災協議会